

令和2年 第9回総務経済常任委員会会議録

令和2年9月10日 議員控室

○事 件

協議事項

(1) 要請のあった意見書の取扱いについて

○出席委員（6名）

委員長	三 澤 公 雄 君	副委員長	牧 野 仁 君
	横 田 喜世志 君		大久保 建 一 君
	田 中 裕 君		宮 本 雅 晴 君

○欠席委員（0名）

○出席委員外議員（2名）

佐 藤 智 子 君	赤 井 睦 美 君
-----------	-----------

○出席説明員（0名）

○出席事務局職員

事務局次長 成 田 真 介 君

◎ 開会・委員長挨拶

○委員長（三澤公雄君） それでは揃いましたので、常任委員会を始めます。

◎ 協議事項

○委員長（三澤公雄君） 今日のこの時間は意見書の取扱いだけですので、協力のほうよろしくをお願いします。それでは事務局から「要請のあった意見書の取扱いについて」の説明をお願いします。

○事務局次長（成田真介君） 委員長。事務局次長。

○委員長（三澤公雄君） 次長。

○事務局次長（成田真介君） 資料をご覧ください。送付のあった意見書でございますが、渡島町村議長会から「道路の整備に関する意見書」、道議長会からは「国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書」と「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」について提出されております。9月4日開催の議会運営委員会においても確認のありましたとおり、総務経済常任委員会で意見書を取り扱うかどうかについてと、取り扱うとした場合は内容等の調整について、ご協議をしていただきたいと思いますと考えております。

まず、渡島議長会からの「道路の整備に関する意見書」と、道議長会からの「国土強靱化に資する～」の意見書については、主に道路の整備等に関するものとなっておりますが、先に渡島議長会の方で要請がありまして、後に精査されたものが道議長会から要請されたものでございます。これらの要請のあった意見書について、総務経済常任委員会で取り扱うかどうかと、取り扱うとした場合、渡島議長会から来たものと道議長会から来たものについての調整を、まずご協議をしていただきたいと思いますと考えております。

また、「国土強靱化の3か年緊急対策」に関する部分については、参考資料で付けております、春夏秋冬提出の意見書と内容が重複するかたちとなっております。議会運営委員会では、総務経済常任委員会で取り扱う場合は、春夏秋冬の方を取り下げるとのことでしたが、この場合、春夏秋冬の方と、その内容・文言の調整をどうするかについても、ご協議をしていただきたいと思いますと考えております。

次に、「泊発電所～」の項目についてですが、道議長会からは、「地域性を考慮し削除、または地域性を踏まえて置き換えることが良い」という意見があった旨の通知を受けておりますので、その項目の調整についてもご協議をしていただきたいと思いますと考えております。

以上、取り扱いについてと、内容の調整について、ご協議の程よろしくお願いたします。

○委員長（三澤公雄君） 今の説明で、だいたいわかってもらったのかなと思いますが、まずは順番に扱っていきたいと思います。道議長会からあった意見書と、渡島議長会からの意見書、手元の資料、みなさん見比べてですね、どちらのものを総務経済常任委員会として扱っていくかということを決めていきたいと思います。委員のみなさんどのようにお考えでしょうか。

- 委員（大久保建一君） 決定的な違いはどの項目なんだろう。
- 事務局次長（成田真介君） ほぼ同じで渡島議長会から先に出たんですけども、あとで精査されて出てきたものが道議長会からでたもの、というふうにとらえております。
- 委員（大久保建一君） 道議長会のものが後で精査された。したら、道議長会のものではないんじゃないの。
- 委員長（三澤公雄君） 俺は逆にね、自分らの足元に近いと言えば、渡島議長会のほうかなと思うんで。要するに道路の切実性とかっていうのは、道の意識っていうのはやっぱり、例えば道北のある部分だとか、道東の部分だとかも念頭に置かれたものではないのかなと思ったりするときに。
- 委員（大久保建一君） けどそこが表れた・・・。
- 委員長（三澤公雄君） 表れてはいないけども。最初はそう考えてさ、そしたら泊ちよさなくてもいいなと思ったんだけど、ちゃんと渡島にも泊書いてる。あまり僕のほうも説得力がないんだけどね。
- 委員（大久保建一君） 違いがないんであればどっちでもいいんだけど。
- 委員長（三澤公雄君） 例えば、道のほうの3番に、「令和2年云々」って書いてあるでしょ。これより詳しく書いただけなのかもしれないんだけど。あまり年次にこだわった書き方を渡島の方はしてないから。ほんとにあまり違うないよね。
- 委員（田中裕君） そしたら道議長会のほうを。道議長会を動かしたんだから。渡島が。
- 委員長（三澤公雄君） 渡島が道を動かした。だから道のほうを尊重しましょうと。それで整理つきますね。では道議長会のほうを扱うということにして。ではもう一点のほうの、春夏秋冬との、これをどっちかにして。
- 事務局次長（成田真介君） 「国土強靱化～」のほうはですね、道議長会の3番目の項目に書いてあると思いますが、春夏秋冬のほうと必ずしも、全く文言が同じというわけではないので、それを取り入れるかたちで直したほうがいいのか、それともそのままがいいのか、そういうようなことを協議していただきます。
- 委員（宮本雅晴君） 私のほうはいつでも降りて大丈夫です。
- 委員長（三澤公雄君） やっぱり期限延長を、春夏秋冬、簡潔に1番目から求めているんだよね。春夏秋冬が一番すっきりしていいかなと思うんだけど。それとあと泊の問題。そこどうするかってことを考えたときに、僕のほうでは例えば、泊ってというのは今回寿都のことでうちの町長も申入れしたりもあるんだけども、まあそういうことであれば。えっ何？泊発電所の項目については、道議長会の原文を使って、泊を削除してもいいよと言われてるんだ。そういうことか。
- 委員（大久保建一君） 削除していいよって。何で？
- 事務局次長（成田真介君） 要は地域性を考慮して、泊周辺に関係のない町村が、直接関係なければそこを削除してもいいですよって道議長会から通知が来ております。
- 委員長（三澤公雄君） まあ原発は必要だって思っている人たちにとって賛成しやすいようにってあるわけでしょ。
- 委員（牧野仁君） そこまでは。

○委員（大久保健一君） 泊発電所があるから国の負担割合引き上げなさいってだけの話でしょ。反対も賛成も関係ないと思うのさ。これは実際あるものだから。だからこれ外さなくても問題はないと思う。

○委員長（三澤公雄君） そうも読めるよね。じゃあ何で削除してもいいよって書いてあるのかな。

○委員（大久保健一君） 過剰に心配してるんじゃないの。その寿都の件で。

○委員（宮本雅晴君） 先週、町長も懇談会行って、質問してるから。まあ掲載してもいいとは思うけど。

○委員長（三澤公雄君） そしたら道議長会のものを採用して、春夏秋冬もそれに乗れるの？

○委員（宮本雅晴君） 乗れるよ。いいよいいよ。そのほうがいいんでないか。

○委員長（三澤公雄君） じゃあそうしますか。文言等の修正はなしで、道議長会のものをそのまま上げましょうということで、総務経済常任委員会は話し合いがつかしました。

○委員（宮本雅晴君） 調整の程よろしくお願いします。

○委員（大久保健一君） 春夏秋冬のものが1個なくなるという。

○委員長（三澤公雄君） 総務経済常任委員会を出すということ。誰読む？俺農議連もあるんだよな。

○委員（大久保健一君） 副委員長でしょそれは。

（何か言う声あり）

○委員長（三澤公雄君） 牧野さんが提案者。

○委員（横田喜世志君） じゃあもうひとつ。「新型コロナ〜」。

○事務局次長（成田真介君） 取り扱うかどうかということで。

（何か言う声あり）

○委員長（三澤公雄君） 資料見落としてた。これはもちろんでしょ。国の責任において、感染症の法律作ったぐらいなんだから。

（何か言う声あり）

○委員長（三澤公雄君） ではもうひとつは横田さんで。

（何か言う声あり）

○委員長（三澤公雄君） はい、活発な議論ありがとうございました。終わります。

[閉会 午後 3時25分]